

## 小規模校の課題確認

池田町 教育大綱検討委が会合

池田町教育大綱の改定を目指す検討委員会は29日、2回目の会合を同町能楽の里文化交流会館で開き、小規模校の利点と課題を確認した。11と12月に開く次回は大綱の項目について話し合う。

池田中で昨年3月、男子生徒が校舎から飛び降りて亡くなり、教員の厳しい指導叱責を苦にした自殺とする調査委の報告書が10月に公表されたことを受けた会議。非公開

反映させていく方針。  
内藤教育長は、報告書で教員と生徒間のトラブルが指摘されたことを受け「先生、生徒、家庭を含めた情報共有や、問題対処の方針も示したい」とも話した。検討委は年明けに素案をまとめ、3月までに教育大綱を改定する。  
(中坪佑香)

で、終了後に内藤徳博教育長が内容を説明した。検討委員の清水誠・池田中学校長が小規模校の良さとして▽生徒全員で福井国体のボランティアに参加できた▽学校活動で自分のアイデアを表現しやすいなどを紹介。人間関係が固定されやすい点を課題に挙げ、学年を越えた合同活動や他校との交流を進めているとした。検討委はこうした小規模校の特色を大綱に